

週刊読書人

毎週金曜日発行
定価 363円
本誌 330円

株式会社 読書人 発行
東京都千代田区神田神保町
1-3-5
郵便番号101-0051
電話 03(5244)5975(代)
FAX 03(5244)5976
振替口座 00150-9-57070
前金購読料50週16000円
https://dokushojin.com
© 株式会社読書人2021

出版界に新風を
書店新風会
全国有力書店の
ネットワーク

◆会員書店30社
事務局：読書人内
☎03(5244)5975

中村 忠夫著

西脇順三郎の風土

小千谷を詠んだ詩の数々

故郷小千谷は詩人にな
る前の西脇順三郎の一部
であり、また詩人になっ
てからの西脇がしばしば
帰る場所であった。同郷
である著者は、西脇本家
を知らない人はいない小
千谷でのエピソードを披
露する。

しかし本書は、天才詩
人のプライベートという
一側面にとどまらない。
医師である著者の誠実な
調査と地道な筆運びが、
西脇の貴重な「現場の証
言」を記してゆく。

西脇がいた現場とは、
「天才の脳内を所有する
詩人の今ここ」だ。以下
は、大正十五年に書かれ
た「肉面的に深き日記」
という詩についての記述
だ。

天才は、神に脳をジャックされる

ノーベル文学賞候補詩人の現場

九 螺 さ さ ら

運動の影響もあるのだろ
うか。」

この詩が書かれたの
は、現代詩の生誕と騒が
れた「天気」の入った詩

集『Ambarvalia』が
出版される七年前だ。

天気

(覆された宝石)のや
うな朝
何人が戸口にて誰かと
ささやく
それは神の生誕の日。

この三行詩は、信仰そ
のものだ。信仰とは何
か、考える以前にピエ
な魂が感受する。そうい
う、意識以前の本物の信
仰、神なる未知への捧げ
物が、文字化けの如く文
字化されている。そし
て、その本物の信仰への
命名が、タイトルの「天
気」だ。二文字はこの詩
の前で、その真髄を發揮
され正しく輝いている。
この天気は、ウエザーの
ことではない。天II宇
宙、の気(オーラ)。天
II神、の気(意思)、だ。

この詩の凄いの、文
字を自から入力した誰も
に、凄さが直入すること
だ。凄う詩は人を選ばな
い。選ぶことができな
い。凄う詩は神のお告げ
(神託)で、神はその脳
内アクセスにおいて平等
(万人アクセス)だから。

西脇は「天気」の少し
前から、神に選ばれ脳内
をジャック(憑依)され、
神託文字化脳にされ
たのだろう。その頃の脳
内所有者としての発言

賞。一九四四年生。

※5面に掲載された記事



A5判・200頁・2000円
クロスカルチャー出版
978-4-908823-79-4
TEL. 03-5577-6707